

KIDDIE-SADS-PL・日本語版

アンサーシート

診断実施日	年 月 日
患者氏名	
情報提供者（保護者）氏名	（続柄： ）
担当医師氏名	

〈注：無断使用を禁止する〉

AD/HD（注意欠陥／多動性障害）

AD/HDのスクリーニングと追加質問の両方を最後まで完了すること。

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし 1=症状なし 2=閾値レベル未満 3=閾値レベル

スクリーニング	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	症状の種類	備考
1. 課題や遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい	0 1 2 3	0 1 2 3	I	
2. 気が散りやすい	0 1 2 3	0 1 2 3	I	
3. 座っていることが難しい	0 1 2 3	0 1 2 3	H	
4. 衝動性	DSM-IV基準でないため、評価しないこと。			
追加質問	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	症状の種類	
1. しばしば不注意な間違いをする	0 1 2 3	0 1 2 3	I	
2. 聞いていない	0 1 2 3	0 1 2 3	I	
3. 指示に従うことが難しい	0 1 2 3	0 1 2 3	I	
4. 課題を順序だてて行うことが難しい	0 1 2 3	0 1 2 3	I	
5. 注意を要する課題を嫌う／避ける	0 1 2 3	0 1 2 3	I	
6. ものをなくしてしまう	0 1 2 3	0 1 2 3	I	
7. 日々の活動で忘れっぽい	0 1 2 3	0 1 2 3	I	
8. そわそわする	0 1 2 3	0 1 2 3	H	
9. 過度に走ったりよじ登ったりする	0 1 2 3	0 1 2 3	H	
10. じっとしていない／何かに駆り立てられるように活動する	0 1 2 3	0 1 2 3	H	
11. おとなしく遊ぶことが難しい	0 1 2 3	0 1 2 3	H	
12. 出し抜けに答えてしまう	0 1 2 3	0 1 2 3	H	
13. 順番を待つのが難しい	0 1 2 3	0 1 2 3	H	
14. さえぎったり、邪魔したりする	0 1 2 3	0 1 2 3	H	
15. (未完成のまま) 次につづる	DSM-IV基準でないため、評価しないこと。			
16. 過度にしゃべる	0 1 2 3	0 1 2 3	H	
17. 身体的に危険な行動をとる	DSM-IV基準でないため、評価しないこと。			

AD/HD（続き）

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし 1=症状なし 2=症状あり

	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
18. 持続期間（6カ月またはそれ以上）	0 1 2	0 1 2	
19. 発症年齢（7歳以前に発症）	0 1 2	0 1 2	
20. 障害	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	
a. 社会的に（同年代の子供と）	0 1 2	0 1 2	
b. 家族と	0 1 2	0 1 2	
c. 学校で	0 1 2	0 1 2	
21. ADHDの証拠（DSM-III-R）	DSM-IV基準でないため、評価しないこと。		

スクリーニングおよび追加質問の回答にもとづいて、以下の質問に答えること。

22. AD/HDの証拠（DSM-IV）	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード
不注意：症状の種類Iの項目はいくつスコア3と評価されたか？	Iのスコア3の合計：____個	Iのスコア3の合計：____個
多動／衝動性：症状の種類Hの項目はいくつスコア3と評価されたか？	Hのスコア3の合計：____個	Hのスコア3の合計：____個

項目18～22に対する回答にもとづいて、以下の質問に答えること。

	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード
1. 不注意優勢型：Iの項目はスコア3が計6個以上あるが、Hは5個以下である。	はい いいえ	はい いいえ
2. 多動性－衝動性優勢型：Hの項目はスコア3が計6個以上あるが、Iは5個以下である。	はい いいえ	はい いいえ
3. 混合型：Iの項目はスコア3が計6個以上あり、Hも6個以上ある。	はい いいえ	はい いいえ
4. 追加質問の項目18「持続期間」はスコア2であったか？	はい いいえ	はい いいえ
5. 追加質問19「発症年齢」はスコア2であったか？	はい いいえ	はい いいえ
6. 追加質問20「障害」のうち2つ以上はスコア2であったか？	はい いいえ	はい いいえ

注：質問1～3のいずれかが「はい」であり、質問4～6がすべて「はい」である場合に限り、患者はAD/HDのDSM-IV基準に適合する。

	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード
患者はAD/HDのDSM-IV基準に適合するか？	はい いいえ	はい いいえ
患者はAD/HD、不注意優勢型のDSM-IV基準に適合するか？	はい いいえ	はい いいえ
患者はAD/HD、多動性－衝動性優勢型のDSM-IV基準に適合するか？	はい いいえ	はい いいえ
患者はAD/HD、混合型のDSM-IV基準に適合するか？	はい いいえ	はい いいえ

反抗挑戦性障害

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし 2=閾値レベル未満

1=症状なし 3=閾値レベル

スクリーニング	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
1. かんしゃくを起こす	0 1 2 3	0 1 2 3	
2. しばしば大人と口論する	0 1 2 3	0 1 2 3	
3. しばしば規則に従えない	0 1 2 3	0 1 2 3	

注：上記項目の1つでもスコア3がある場合に限り、反抗挑戦性障害の追加質問を実施すること。

追加質問	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
1. いらいらさせられやすい、または怒りやすい	0 1 2 3	0 1 2 3	
2. 怒り、または腹をたてる	0 1 2 3	0 1 2 3	
3. 意地悪で執念深い	0 1 2 3	0 1 2 3	
4. 悪い言葉をいう	DSM-IV基準でないため、評価しないこと。		
5. 故意に他人をいらだたせる	0 1 2 3	0 1 2 3	
6. 自分の失敗を他人のせいにする	0 1 2 3	0 1 2 3	

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし

1=症状なし

2=症状あり

追加質問	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
7. 持続期間（6カ月またはそれ以上）	0 1 2	0 1 2	
8. 障害	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	
a. 社会的に（同年代の子供と）	0 1 2	0 1 2	
b. 家族と	0 1 2	0 1 2	
c. 学校で	0 1 2	0 1 2	
9. 結実因子（プレシピタン）の証拠	0 1 2	0 1 2	
具体的に：			

反抗挑戦性障害（続き）

10a. 反抗挑戦性障害の証拠 (DSM-III-R)	DSM-IV基準でないため、評価しないこと。
-----------------------------	------------------------

10b. 反抗挑戦性障害の証拠 (DSM-IV)	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード
i. スクリーニング1～3および/または追加質問1～3、5～6の評価でスコア3が4つ以上あったか？	はい いいえ	はい いいえ
ii. 追加質問7「持続期間」はスコア2であったか？	はい いいえ	はい いいえ
iii. 追加質問8「障害」の1つでもスコア2があったか？	はい いいえ	はい いいえ

注：質問 i～iii がすべて「はい」であれば、反抗挑戦性障害のDSM-IV基準に適合する。

	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード
患者は反抗挑戦性障害のDSM-IV基準に適合するか？	はい いいえ	はい いいえ

行為障害

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし 2=閾値レベル未満

1=症状なし 3=閾値レベル

NA=該当なし

スクリーニング	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
1. 嘘をつく	0 1 2 3	0 1 2 3	
2. (学校を) さぼる	0 1 2 3	0 1 2 3	
3. 取っ組み合いの喧嘩をはじめる	0 1 2 3	0 1 2 3	
殺人企図	NA いいえ はい	NA いいえ はい	
暴力団に関係している	NA いいえ はい	NA いいえ はい	
4. 他人をいじめ、脅迫し、威嚇する	0 1 2 3	0 1 2 3	
5. (被害者の面前ではない) 非攻撃的な盗み (例: こそ泥、空き巣)	0 1 2 3	0 1 2 3	

注：上記項目の1つでもスコア3がある場合に限り、行為障害の追加質問を実施すること。

追加質問	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
1. 破壊行為	0 1 2 3	0 1 2 3	
2. 破壊や侵入	0 1 2 3	0 1 2 3	
3. (被害者の面前での) 攻撃的な盗み (例: 強盗)	0 1 2 3	0 1 2 3	
4. 放火	0 1 2 3	0 1 2 3	
5. しばしば夜遅く外出する	0 1 2 3	0 1 2 3	
6. 夜通しの家出	0 1 2 3	0 1 2 3	
7. 武器の使用	0 1 2 3	0 1 2 3	
8. 人に対して身体的に残酷であること	0 1 2 3	0 1 2 3	
9. 性行為を強いること	0 1 2 3	0 1 2 3	
10. 動物に対して身体的に残酷であること	0 1 2 3	0 1 2 3	

行為障害（続き）

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし

1=症状なし

2=症状あり

11. 障害	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
a. 社会的に（同年代の子供と）	0 1 2	0 1 2	
b. 家族と	0 1 2	0 1 2	
c. 学校で	0 1 2	0 1 2	
12. 持続期間（6カ月またはそれ以上）	0 1 2	0 1 2	
13. 集団型	0 1 2	0 1 2	
14. 単独攻撃型	0 1 2	0 1 2	
15. 分類不能型	0 1 2	0 1 2	
16. 小児期発症型	0 1 2	0 1 2	
17. 青年期発症型	0 1 2	0 1 2	

18. 行為障害の証拠 (DSM-III-R)	DSM-IV基準でないため、評価しないこと。
-------------------------	------------------------

18. 行為障害の証拠 (DSM-IV)	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード
i. スクリーニング1～5および/または追加質問1～10の評価でスコア3が3つ以上あったか？	はい いいえ	はい いいえ
ii. 追加質問11「障害」の1つでもスコア2があったか？	はい いいえ	はい いいえ
iii. 追加質問12「持続期間」スコア2であったか？	はい いいえ	はい いいえ

注：質問 i、ii および iii がすべて「はい」であれば、行為障害のDSM-IV基準に適合する。

	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード
患者は行為障害のDSM-IV基準に適合するか？	はい いいえ	はい いいえ

パニック障害

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし 2=閾値レベル未満

1=症状なし 3=閾値レベル

スクリーニング	現在のエピソード	もっとも重症の 過去のエピソード	備考
1. パニック発作	0 1 2 3	0 1 2 3	

注：上記項目の評価がスコア3の場合に限り、パニック障害の追加質問を実施すること。

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし 2=発作中に時折存在する

1=症状なし 3=発作中にいつでも、またはほぼいつでも存在する

追加質問	現在のエピソード	もっとも重症の 過去のエピソード	備考
1. 息切れ（呼吸困難）	0 1 2 3	0 1 2 3	
2. めまい（回転めまい）／ 気が遠くなる	0 1 2 3	0 1 2 3	
3. 動悸	0 1 2 3	0 1 2 3	
4. 身震いまたは震え	0 1 2 3	0 1 2 3	
5. 発汗	0 1 2 3	0 1 2 3	
6. 窒息感	0 1 2 3	0 1 2 3	
7. 嘔気	0 1 2 3	0 1 2 3	
8. 離人症状／現実感消失	0 1 2 3	0 1 2 3	
9. 感覚麻痺／うずき感	0 1 2 3	0 1 2 3	
10. 熱感／冷感	0 1 2 3	0 1 2 3	
11. 胸痛	0 1 2 3	0 1 2 3	
12. 死ぬことに対する恐怖	0 1 2 3	0 1 2 3	
13. コントロールを失うこと に対する恐怖	0 1 2 3	0 1 2 3	

パニック障害（続き）

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし 1=症状なし 2=症状あり

	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
14. 限定された刺激	0 1 2	0 1 2	
15. 予期しない発作	0 1 2	0 1 2	
16. 最小限の基準症状（4つの症状を伴う発作が少なくとも1回あった）	0 1 2	0 1 2	
17. 発作の頻度（4週間以内に4回の発作があった）	0 1 2	0 1 2	
1カ月の最大発作回数			
過去1週間の発作回数			
18. もっと発作が起こるのではないかという恐怖（少なくとも1カ月継続）	0 1 2	0 1 2	
19. 発作の発症（4つの症状を伴う少なくとも1回の発作が突然現れ、10分以内にその強さを増す）	0 1 2	0 1 2	
20. 広場恐怖	0 1 2	0 1 2	
21. 障害	0 1 2	0 1 2	
a. 社会的に（同年代の子供と）	0 1 2	0 1 2	
b. 家族と	0 1 2	0 1 2	
c. 学校で	0 1 2	0 1 2	
22a. パニック障害の証拠（DSM-III-R）	DSM-IV基準でないため、評価しないこと。		
22b. パニック障害の証拠（DSM-IV）	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	
i. 追加質問15～19はすべてスコア2であったか？	はい いいえ	はい いいえ	
ii. パニック発作は器質性または薬剤性の病因によるか？	はい いいえ	はい いいえ	
iii. パニック発作を以下のような他の精神障害（外傷後ストレス障害、社会恐怖、分離不安障害）でうまく説明できるか？	はい いいえ	はい いいえ	

注：質問 i の答えが「はい」であり、質問 ii および iii が「いいえ」の場合に限り、広場恐怖を伴わないパニック障害の基準に適合する。

	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード
患者は広場恐怖を伴わないパニック障害のDSM-IV基準に適合するか？	はい いいえ	はい いいえ

注：「9. 広場恐怖を伴うパニック障害（15/28ページ）」の診断基準を確認すること。

分離不安障害

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし 2=閾値レベル未満
1=症状なし 3=閾値レベル

スクリーニング	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
1. 分離を引き起こす不幸な事象についての恐怖	0 1 2 3	0 1 2 3	
2. 愛着をもっている人に危険がふりかかることについての恐怖	0 1 2 3	0 1 2 3	
3. 学校へ行くことについての抵抗または拒否	0 1 2 3	0 1 2 3	
4. 家を離れて/1人で寝ることに対する恐怖	0 1 2 3	0 1 2 3	
5. 1人で家にいることに対する恐怖	0 1 2 3	0 1 2 3	

注：上記項目の1つでもスコア3がある場合に限り、分離不安障害の追加質問を実施すること。

追加質問	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
1. 悪夢	0 1 2 3	0 1 2 3	
2. 登校/分離時の身体症状の訴え	0 1 2 3	0 1 2 3	
3. 分離が予測される場合の過剰な苦痛	0 1 2 3	0 1 2 3	
4. 分離が起こった場合の過剰な苦痛	評価しないこと(3.に含めて評価)		

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし 1=症状なし 2=症状あり

	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
5. 障害の持続期間 (少なくとも4週間)	0 1 2	0 1 2	
週単位でのおよその持続期間:			
6. 障害	0 1 2	0 1 2	
a. 社会的に (同年代の子供と)	0 1 2	0 1 2	
b. 家族と	0 1 2	0 1 2	
c. 学校で	0 1 2	0 1 2	
7. 結実因子 (プレシビタン) の証拠	0 1 2	0 1 2	
具体的に:			

注：DSM-IVでは診断に要する「5. 障害の持続期間」は「少なくとも4週間」に変更された。

分離不安障害（続き）

8. 分離不安障害の証拠 (DSM-III-R)	DSM-IV基準でないため、評価しないこと。
--------------------------	------------------------

8. 分離不安障害の証拠 (DSM-IV)	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード
i. スクリーニング1～5および/または追加質問1～3の評価でスコア3が3つ以上あったか？	はい いいえ	はい いいえ
ii. 追加質問5「持続期間」はスコア2であったか？	はい いいえ	はい いいえ

注：質問 i および ii がいずれも「はい」であれば、患者は分離不安障害の基準に適合する。

	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード
患者は分離不安障害のDSM-IV基準に適合するか？	はい いいえ	はい いいえ

回避性障害／社会恐怖

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし 2=閾値レベル未満

1=症状なし 3=閾値レベル

スクリーニング	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
1. 人との交流から遠ざかる	0 1 2 3	0 1 2 3	
2. 社会的状況に対する恐怖	0 1 2 3	0 1 2 3	

注：上記項目の1つでもスコア3がある場合に限り、社会恐怖の追加質問を実施すること。

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし

1=症状なし

2=症状あり

追加質問	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
3. よく知っている人との社会関係（関わり合いへの欲求）	0 1 2	0 1 2	
4. 持続期間（6カ月以上）	0 1 2	0 1 2	
具体的な日付を記載：			
5. 障害	0 1 2	0 1 2	
a. 社会的に（同年代の子供と）	0 1 2	0 1 2	
b. 家族と	0 1 2	0 1 2	
c. 学校で	0 1 2	0 1 2	
d. 重度の不安／泣く／かんしゃくを起こす	0 1 2	0 1 2	
e. 回避	0 1 2	0 1 2	
6. 結実因子（プレシビタン）の証拠	0 1 2	0 1 2	
具体的に：			

回避性障害／社会恐怖（続き）

7. 小児期の回避性障害の証拠 (DSM-III-R)	DSM-IV基準でないため、評価しないこと。
-----------------------------	------------------------

8. 社会恐怖の証拠 (DSM-IV)	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード
i. スクリーニング2はスコア3であったか?	はい いいえ	はい いいえ
ii. 追加質問5のdはスコア2であったか?	はい いいえ	はい いいえ
iii. 追加質問5のeはスコア2であったか?	はい いいえ	はい いいえ
iv. 追加質問3はスコア2であったか?	はい いいえ	はい いいえ

注：質問 i～iv がすべて「はい」であれば、患者は社会恐怖の基準に適合する。

	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード
患者は社会恐怖のDSM-IV基準に適合するか?	はい いいえ	はい いいえ

広場恐怖／特定の恐怖症

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし 2=閾値レベル未満

1=症状なし 3=閾値レベル

スクリーニング	現在のエピソード	もっとも重症の 過去のエピソード	備考
1. 苦痛	0 1 2 3	0 1 2 3	
2. 回避	0 1 2 3	0 1 2 3	
もっとも強い恐怖症を特定する：			
他の恐怖症を特定する：			

注：上記項目の1つでもスコア3がある場合に限り、広場恐怖および特定の恐怖症の追加質問を実施すること。

追加質問

1. 恐怖刺激／恐怖状況	現在のエピソード	もっとも重症の 過去のエピソード	備考
a. 高所	0 1 2 3	0 1 2 3	
b. 暗所	0 1 2 3	0 1 2 3	
c. 血液	0 1 2 3	0 1 2 3	
d. 犬	0 1 2 3	0 1 2 3	
e. 他の動物	0 1 2 3	0 1 2 3	
f. 昆虫	0 1 2 3	0 1 2 3	
g. *1人で家以外の場所 にいる	0 1 2 3	0 1 2 3	
h. *人混み	0 1 2 3	0 1 2 3	
i. * 野外 (10歳になって からの小児の1人での 外出)	0 1 2 3	0 1 2 3	
j. * 交通機関の利用 (バ ス、地下鉄)	0 1 2 3	0 1 2 3	
k. * エレベーター	0 1 2 3	0 1 2 3	
l. * 店舗またはエレベ ーター以外の閉所	0 1 2 3	0 1 2 3	
m. * 橋またはトンネルの 通過	0 1 2 3	0 1 2 3	
n. その他 (具体的に)：	0 1 2 3	0 1 2 3	

注：*を付した項目は典型的な広場恐怖を表す。

広場恐怖／特定の恐怖症（続き）

	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード
広場恐怖はパニック発作またはパニック様症状に起因するか？	NA はい いいえ	NA はい いいえ

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし

1=症状なし

2=症状あり

	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
2. 恐怖が過剰であるという自覚	0 1 2	0 1 2	
3. 持続期間（6カ月以上）	0 1 2	0 1 2	
具体的に：			
4. 障害	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
a. 社会的に（同年代の子供と）	0 1 2	0 1 2	
b. 家族と	0 1 2	0 1 2	
c. 学校で	0 1 2	0 1 2	
5. 結実因子（プレシビタン）の証拠	0 1 2	0 1 2	
具体的に：			
6 a. 単一恐怖の証拠（DSM-III-R）	DSM-IV基準でないため、評価しないこと。		
6 b. 特定の恐怖症の証拠（DSM-IV）	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	
i. 追加質問 1a~nのうち1つでもスコア3があったか？	はい いいえ	はい いいえ	
ii. スクリーニング1および2はスコア3であったか？	はい いいえ	はい いいえ	
iii. 追加質問3「持続期間」はスコア2であったか？	はい いいえ	はい いいえ	
iv. 追加質問4「障害」のうち1つでもスコア2があったか？	はい いいえ	はい いいえ	
v. 恐怖は診断されている別の障害に起因するか？	はい いいえ	はい いいえ	

注：質問 i~iv がすべて「はい」で、質問 v が「いいえ」であれば、患者は特定の恐怖症の基準に適合する。

広場恐怖／特定の恐怖症（続き）

7. 病型	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード
a. 動物型（例：虫、クモ、ヘビ）	0 1 2	0 1 2
b. 自然環境型（例：高所、嵐、水）	0 1 2	0 1 2
c. 血液-注射-傷害型	0 1 2	0 1 2
d. 状況型（例：飛行機、エレベーター、閉ざされた場所）	0 1 2	0 1 2
e. その他の型（例：病気にかかるかもしれない恐怖、大きな騒音）	0 1 2	0 1 2

8. 広場恐怖（DSM-IV）	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード
i. 逃げるに逃げられない場所や動きが妨げられる場所に不安を感じるか？	はい いいえ	はい いいえ
ii. 逃げにくい状況や動きが妨げられる状況を回避するか？	はい いいえ	はい いいえ
iii. 社会恐怖、OCD、PTSDまたは特定の恐怖症の基準に適合しないか？	はい いいえ	はい いいえ

注：質問 i～iii がすべて「はい」であれば、広場恐怖の基準に適合する。

9. 広場恐怖を伴うパニック障害	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード
i. パニック障害のDSM-IV基準に適合するか？	はい いいえ	はい いいえ
ii. 広場恐怖の基準に適合するか？	はい いいえ	はい いいえ

注：質問 i および ii がいずれも「はい」であれば、広場恐怖を伴うパニック障害の基準に適合する。

	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード
患者は特定の恐怖症のDSM-IV基準に適合するか？	はい いいえ	はい いいえ
患者は広場恐怖のDSM-IV基準に適合するか？	はい いいえ	はい いいえ
患者は広場恐怖を伴うパニック障害のDSM-IV基準に適合するか？	はい いいえ	はい いいえ

過剰不安障害／全般性不安障害

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし 2=閾値レベル未満
1=症状なし 3=閾値レベル

スクリーニング	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
1. 将来についての非現実的な心配（複数の事象を不安に思っている場合に限って評価する）	0 1 2 3	0 1 2 3	
2. 身体的愁訴（分離状況または学校へ行くことについての拒否にのみ関連する場合は評価しない）	0 1 2 3	0 1 2 3	
3. 自意識過剰	0 1 2 3	0 1 2 3	
4. 著しい緊張感／リラックスできない感じ	0 1 2 3	0 1 2 3	

注：上記項目の1つでもスコア3がある場合に限り、全般性不安障害の追加質問を実施すること。

追加質問	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
1. 過去の行動の適切さへのこだわり	0 1 2 3	0 1 2 3	
2. 能力に関する過剰な不安	0 1 2 3	0 1 2 3	
3. 過剰に確認を求めること	0 1 2 3	0 1 2 3	

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし 1=症状なし 2=症状あり

	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
4. 不安を抑制する能力（心配を制御することが難しいと感じている）	0 1 2	0 1 2	
5. 全般性不安障害のその他の症状	0 1 2	0 1 2	
a. 筋肉の緊張、痛みまたはうずき	0 1 2	0 1 2	
b. 落ち着きのなさ	0 1 2	0 1 2	
c. 易疲労性	0 1 2	0 1 2	
d. 緊張感または過敏	0 1 2	0 1 2	
e. 不安による集中困難または心が空白となること	0 1 2	0 1 2	

過剰不安障害／全般性不安障害（続き）

	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
f. 入眠または睡眠維持の困難	0 1 2	0 1 2	
g. 易怒性	0 1 2	0 1 2	
6. 持続期間（6カ月以上）	0 1 2	0 1 2	
具体的に：			
7. 障害または苦痛の証拠	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
a. 社会的に（同年代の子供と）	0 1 2	0 1 2	
b. 家族と	0 1 2	0 1 2	
c. 学校で	0 1 2	0 1 2	
8. 結実因子（プレシビタン）の証拠	0 1 2	0 1 2	
具体的に：			

9. 過剰不安障害の証拠（DSM-III-R）	DSM-IV基準でないため、評価しないこと。
-------------------------	------------------------

10. 全般性不安障害の証拠（DSM-IV）	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード
i. スクリーニング1～4および／または追加質問1～3の評価でスコア3が4つ以上あったか？	はい いいえ	はい いいえ
ii. 追加質問4はスコア2であったか？	はい いいえ	はい いいえ
iii. 追加質問5のうち1つでもスコア2があったか？	はい いいえ	はい いいえ
iv. 追加質問6「持続期間」はスコア2であったか？	はい いいえ	はい いいえ
v. 追加質問7「障害または苦痛の証拠」のうち1つでもスコア2があったか？	はい いいえ	はい いいえ
vi. 気分障害、広汎性発達障害、精神分裂病または他の精神病性障害、分離不安障害、強迫性障害、広場恐怖または特定の恐怖症の基準に適合するか？	はい いいえ	はい いいえ

注：質問i～vがすべて「はい」で、質問ivが「いいえ」であれば、全般性不安障害の基準に適合する。

	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード
患者は全般性不安障害のDSM-IV基準に適合するか？	はい いいえ	はい いいえ

強迫性障害

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし 2=閾値レベル未満
1=症状なし 3=閾値レベル

スクリーニング	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
1. 強迫行為	0 1 2 3	0 1 2 3	
2. 強迫観念	0 1 2 3	0 1 2 3	

注：上記項目の1つでもスコア3がある場合に限り、強迫性障害の追加質問を実施する。

追加質問

強迫行為

1. 強迫行為の種類	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
a. 触る	0 1 2 3	0 1 2 3	
b. 数を数える	0 1 2 3	0 1 2 3	
c. きれいにすること/洗うこと	0 1 2 3	0 1 2 3	
d. 確認する(例：他人を傷つけていない、悪いことは起こらない、間違いを起こしていない)	0 1 2 3	0 1 2 3	
e. 収集する/ためこむ	0 1 2 3	0 1 2 3	
f. 物を順番に並べる/整頓する	0 1 2 3	0 1 2 3	
g. 行動の予定を立てる	0 1 2 3	0 1 2 3	
h. 繰り返す/やりなおす(例：物を配置する、ドアを通過する、椅子から立つ/座るなどの行動)	0 1 2 3	0 1 2 3	
i. その他(具体的に)：	0 1 2 3	0 1 2 3	

強迫性障害（続き）

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし

1=症状なし

2=症状あり

強迫行為の続き	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
2. 強迫行為の目的	0 1 2	0 1 2	
3. 強迫行為の認識	0 1 2	0 1 2	
4. 時間の浪費（1日に1時間以上）	0 1 2	0 1 2	
5. 障害	0 1 2	0 1 2	
a. 社会的に（同年代の子供と）	0 1 2	0 1 2	
b. 家族と	0 1 2	0 1 2	
c. 学校/職場で	0 1 2	0 1 2	
d. 重度の苦痛	0 1 2	0 1 2	

以下の項目を次のスコアで評価する。0=情報なし 2=閾値レベル未満

1=症状なし 3=閾値レベル

強迫観念

1. 強迫観念の内容	現在のエピソード	もっとも重症の過去のエピソード	備考
a. 汚染、身体の汚れ (例：清潔/細菌、安全性など)	0 1 2 3	0 1 2 3	
b. 攻撃的思考（自己または他者に関する）	0 1 2 3	0 1 2 3	
c. 虚無的な考えまたは病的思考	0 1 2 3	0 1 2 3	
d. 対称または正確さの要求（確実/正確/順序）	0 1 2 3	0 1 2 3	
e. 無意味な語句/音/心像	0 1 2 3	0 1 2 3	
f. 性的強迫観念	0 1 2 3	0 1 2 3	
g. ためこむ/節約	0 1 2 3	0 1 2 3	
h. 宗教性	0 1 2 3	0 1 2 3	
i. その他（具体的に）： _____	0 1 2 3	0 1 2 3	